

○「日比谷野音から TV の生放送音楽番組に中継参加」 総合舞台でステージ照明を担当
実施日：2023年4月18日 会場：日比谷野外音楽堂

日比谷野外音楽堂からテレビの生放送番組に3曲の中継参加があり、総合舞台はステージ照明を担当しました。日比谷野音は今年で設立100周年を迎える東京の音楽の殿堂です。長い歴史を刻んできたステージを彩る照明チームにフォーカスします。

ステージ上のバトンに器具を吊りこみ、上下のフロントタワーには前明かりに使うパーライトを持ち上げ、センタータワーにはピンスポットを設置します。重量物の運搬や危険を伴う高所作業に必要なのは、パワーとハーネスだけでなく互いに声を掛け合いながら仕事を進める周囲への目配りと気配り。チーフを中心にした入念な打合せの後、照明シュートを行いリハーサルに臨みます。でもリハーサルの時間帯はまだ外光が強く、きめの細かなライティングはできません。次第に暮れていく空を見ながら出演者の立ち位置に代役を配して、調整します。そして本番1時間前ようやく照明合わせが完了です。

さて本番、今回はテレビの生放送です。TVカメラを通した映像管理をするために照明チーフとTV局側のLDが連携してモニター画面で映像を確認します。生放送の緊張感に包まれた長時間の業務でしたが、放送は無事終了。総合舞台照明チームの優れた技術力とチームワークが設立100周年記念の日比谷野音中継を支えました。

